

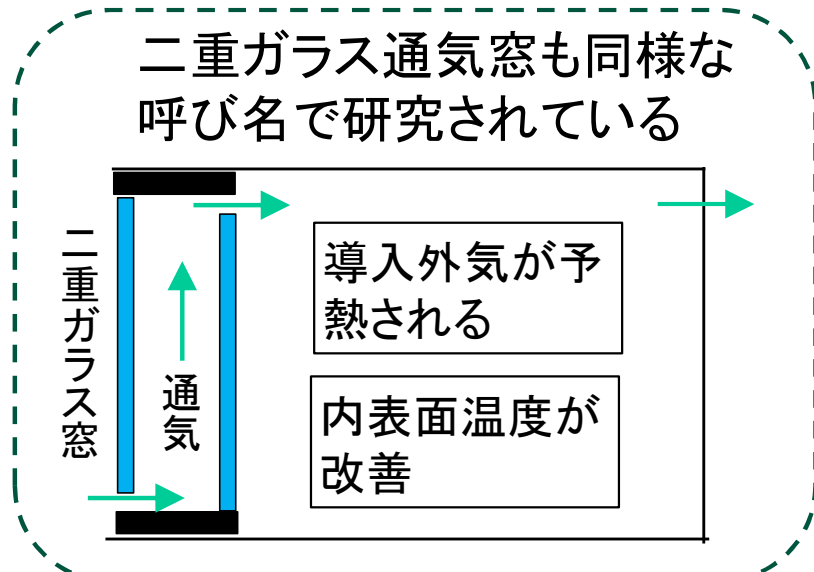
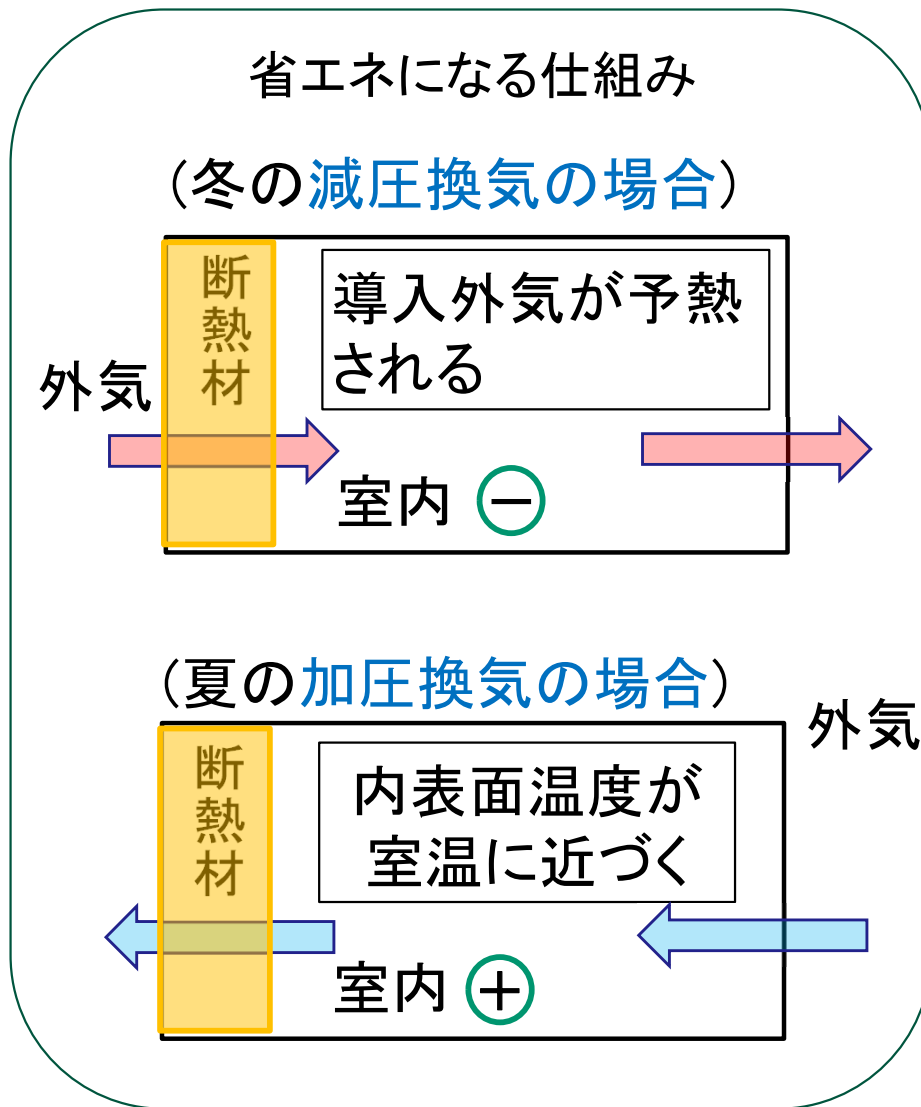
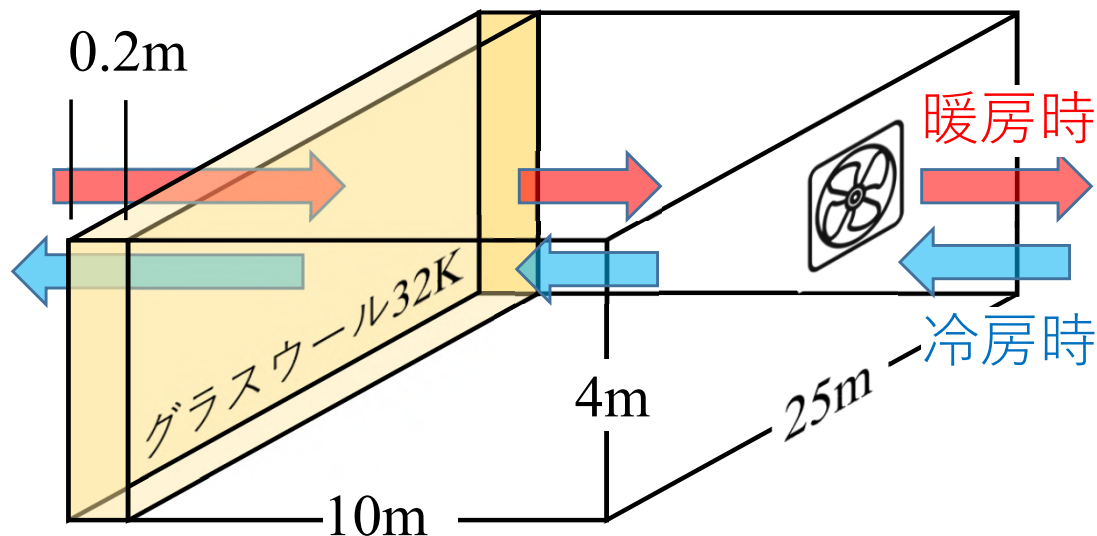
次からの 2 スライドは, ダイナミック・インシュレーション

**NETS**

**SPID** SOCS

# NETSの検討事例3：ダイナミックインシュレーション

透気性の断熱材や気泡コンクリートの壁を換気に利用して省エネができる？



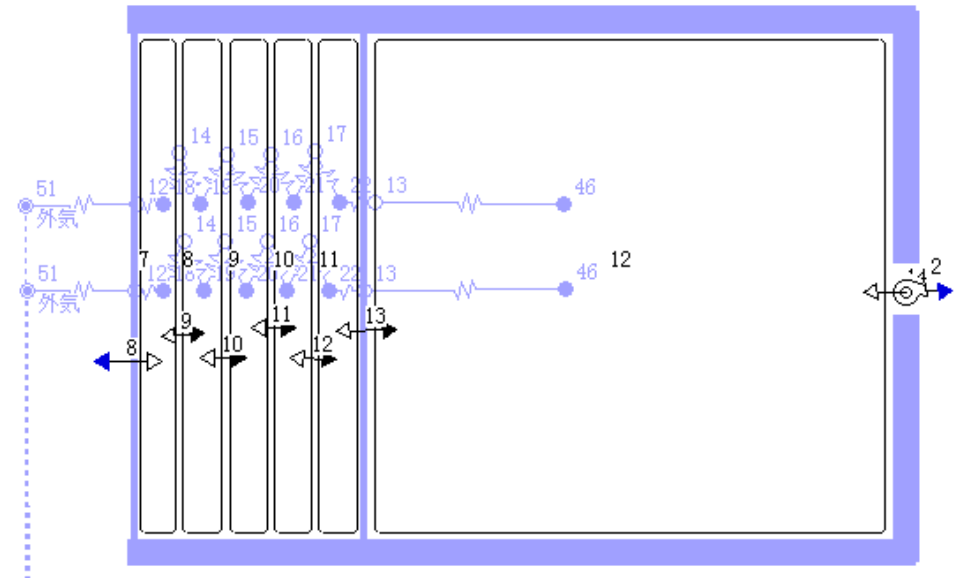
冬季の内部結露防止に行う場合もある

# NETSの計算モデルと熱負荷低減率の結果

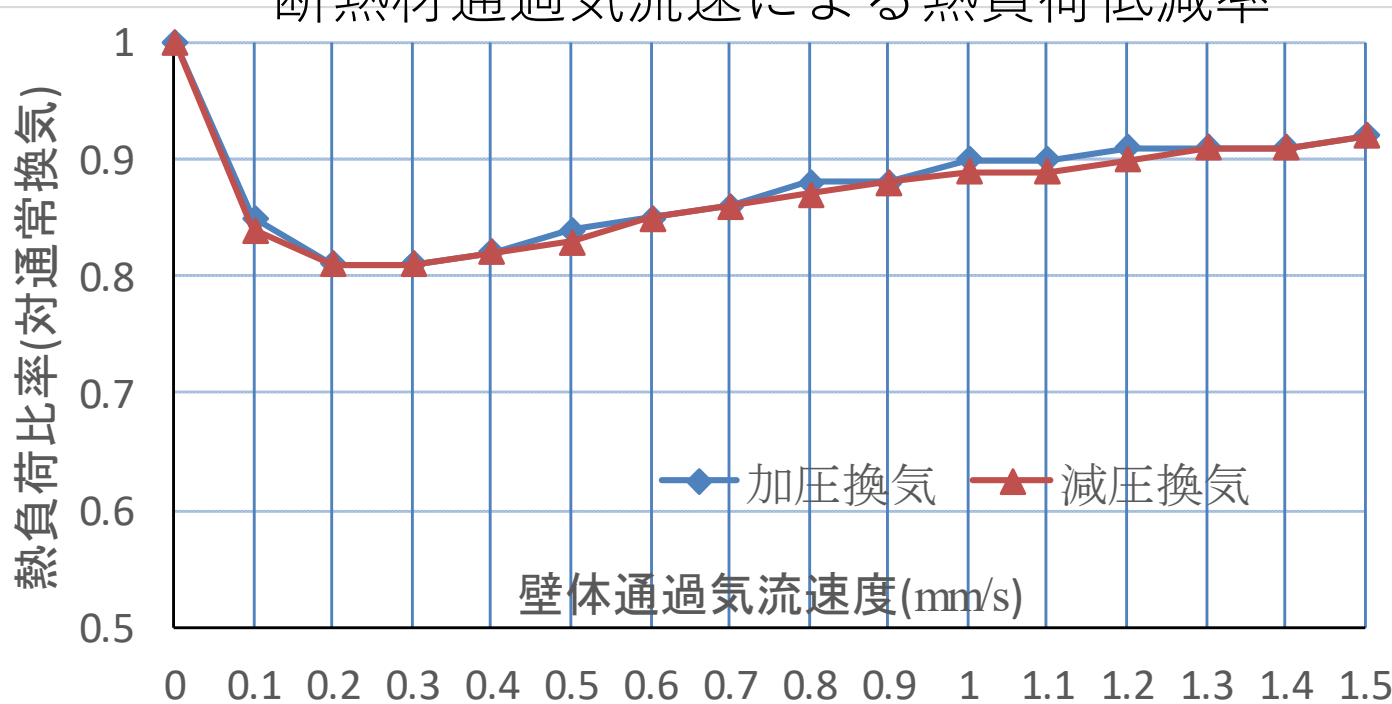
熱・換気・水蒸気回路網

右の換気回路網のモデル作成では、背景に熱回路網と水蒸気回路網が透けて見えようにしている。

(換気量が異なる複数のモデルを、並べて描き、同時に計算した。この中の一つのモデル)



断熱材通過気流速による熱負荷低減率



「熱負荷低減率」とは透気しない場合の熱負荷に対する比率。

左図から、熱負荷を最小にするのは、0.2 [mm/s]の流速であり、換気回数では0.072となる。